

こどもが選ぶ,友だちにすすめたい本

～うつのみやこども賞～



宇都宮市立中央図書館（栃木県宇都宮市） <http://www.lib-utsunomiya.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	宇都宮市明保野町7-57
電話番号	028-636-0231
人口（図書館が所在する市町村）	516,546人
職員数（うち有資格者数）	47（17）人
蔵書数	601,229冊
登録者数	173,264人
年間貸出冊数（H24）	1,195,697冊

目的・趣旨

子供による児童文学作品評価への道を切り開くため,宇都宮子ども本連絡会の協力を得て昭和59年から実施。受賞作品を活用し広く子供の読書活動を啓発することを目指している。

取組概要

- ①宇都宮市内の小学校5,6年生から公募した選定委員約20名が,1か月に4タイトルの本を読み,月1回第1日曜日に開催する選定会議で協議し「月の本」を選定する。対象となる本は,図書館で入手できる小学校高学年向けの日本人が書いた新作の創作本としている。
- ②「月の本」は,「うつのみやこども賞だより」として,市内の全小学校に配信して紹介するとともに,図書館HP,各図書館等でのチラシ配布により周知,また,図書館に「うつのみやこども賞コーナー」を常設している。
- ③3月の選定会議において,その年度の「月の本」からもっとも友だちにすすめたい本として「うつのみやこども賞」を決定する。
- ④翌年度に「うつのみやこども賞」を受賞した作家を招き,昨年度の旧選定委員,新年度の新選定委員,一般市民を受講者として記念講演会を開催する。講演会に先立ち,旧選定委員から受賞作家に感謝状と花束を贈呈する。



うつのみやこども賞だより



宇都宮市立中央図書館「うつのみやこども賞コーナー」



平成25年度の感謝状贈呈の場面

特徴

- ①子供たち自身が,読後の感想を述べ合い,話し合いをしながら選定しており,児童自身が優れた図書を選定するという点で,先駆的な事業であること。
- ②子供たちが,友だちにすすめたい本を選ぶことから,その本に親しみをもちやすいこと。
- ③日本人の作家を顕彰していること。

取組の成果と今後について

- ・子供が同世代に向けて選ぶ本なので,特に「うつのみやこども賞」に選ばれた本はよく利用されている。
- ・選定委員の子供たちにとって,読書の幅が広がるとともに,読書の楽しみが増している。また,読書を通して友だちが増えている。
- ・児童文学作家の創作意欲を喚起している。